

第29回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成28年7月26日 午前10時00分～12時00分

場 所 神戸市役所 1号館 1 4階 大会議室

1. みちづくり計画（H23～H27）の総括について

- ・ 全体的にCも多く、割と正直な評価をしている。
- ・ 未達成の項目について、今後の5年、10年の計画の中ではボリュームアップして進めていけるのか。
- ・ 総括ではなく、柱ごとの施策の進行管理になっているので、大もとの目的に対するチェックを行い、市民にとって良いみちづくりになるための検証が必要である。
- ・ 前のみちづくり計画は他都市でも同じような内容ではないかと感じる部分もあったが、新しいみちづくり計画で方向性を変えたことに意味があり、それが総括ではないかと思う。

2. みちづくり計画（H28～H32）の進行管理・評価および広報について

○進行管理・評価について

- ・ 評価については、市民の意見ではなく専門的な立場の方で行う方がよいと思う。
- ・ P D C Aサイクルの観点で、進捗管理を行っていることをわかりやすくすよう、精査していただきたい。
- ・ 資料4の進行管理表には初期値、目標値を入れた方がよいと思う。
- ・ 道路部局だけでなく、他の部局も含めてチェックが働くような仕組みを取り入れてほしい。

○広報について

- ・ 広報すべきものが大量にある中で、外部の意見を取り入れ、市民目線でわかりやすいチラシにする必要がある。
- ・ 市民の多くは目の前のみちや、形になるものに対して最も関心があるので、どの様に市民に知らせ、広く意見を吸い上げてまとめるのかが課題である。
- ・ インフラ整備は粛々と進めていくべきであるが、みちづくりだけではなく、まちづくりに活かす必要があるという意図を取り入れるとよいと思う。
- ・ 都市の全体像をまず示した上で、エリアごとの課題に対しどのような施策を打つか、それによってまちはどう変わるという流れがわかる様にしてほしい。